

令和4年度第3回 小林市国民健康保険運営協議会 議事録

【開催日時】 令和5年2月16日（木）
午後7時から午後7時50分

【開催場所】 小林市役所 本館2階 会議室1

【出席者】 委員
公益代表 高妻 賢士
吉脇 辰男
山田 博
保険医代表 丸野 克之
福森 一真
被保険者代表 岩松 浩
有木 鈴子
芝原 靖彦
被用者保険代表 牧寄 敦子

事務局
市民生活部長 和田 龍一
ほけん課長 岩下 経一郎
総務グループ主幹 平田 悟
後期グループ主幹 谷山 智子

【欠席者】 委員
保険医代表 園田 定彦
竹之内 剛
被保険者代表 柿木 由紀子
竹山 真弓美

【会議成立の要件】 13名中9名出席。出席者が過半数につき、会議は成立した。

【次第及び議事結果】

- 1 開会 岩下ほけん課長 が進行を行った。
- 2 会長あいさつ 高妻会長 があいさつした。

3 部長あいさつ 和田市民生活部長 があいさつした。

委員の自己紹介 委員が改正されてから今回初めての出席方式となるため、出席委員が自己紹介を行った。

4 議長選出 慣例により高妻会長が議長を務めた。

5 議事

議題1 条例の一部改正（案）

- ・小林市国民健康保険条例の一部改正の概要を平田が説明した。
- ・出産育児一時金 42 万円から 50 万円へ引き上げる。出産費用が現在の一時金 42 万円では不足している。

意見、質疑

- ・（有木委員）直接支払制度について、直接支払う分は 50 万円なのか？差額は個人でいただけるのか？
- ・（平田）出産費用が 45 万円の場合は、市から病院へ 45 万円を支払うため、被保険者は、病院には何も支払わなくてよい。差額の 5 万円を市に申請して受け取ることになる。50 万円を超えた場合は、例えば 55 万円だった場合は（被保険者は）超えた額 5 万円を病院に支払うことになるため被保険者の負担が出てくる。
- ・（芝原委員）差額が発生した場合、5 万円を市に申請するとのことだが簡単な申請なのか？
- ・（平田）申請は、出産したことが分かる母子手帳と金額が分かる領収書を持ってきていただければ支給することができる。
- ・（芝原委員）申請ということで簡単にした方が助かると思う。

議題2 令和5年度小林市国民健康保険事業特別会計 当初予算（案）

- ・当初予算案の概要を平田が説明した。
- ・総額 6,144,912 千円、昨年度より 88,888 千円の減額。主な説明箇所は、歳入は国民健康保険税と普通・特別交付金、歳出は保険給付費と国民健康保険事業費納付金。

意見、質疑

- ・（岩松委員）歳入の予算額が余った場合、全額返金するのではなかったか。また、5年度予算を4年度予算と比べると減っているが、4年度予算から県に返金した額はいくらか。
- ・（和田部長）平成30年度から県域化になり、国保連合会から毎月かかった医療費

の請求がくるので、その分を県から交付してもらい、国保連合会に支払う仕組みになっている。その他、県へ納める納付金がある。連合会へ支払う保険給付費は同じ金額が県から交付される。第三者行為求償で加害者へ医療費を請求した分は県へ返すことになるが、その他で大きな額を返還することはほとんどない。以前と変更になっている。

議長降任

6 その他

小林市国民健康保険事業の現状

- ・勉強会も兼ねて、小林市国民健康保険事業の現状について、被保険者の状況、税金、医療費、保健事業、医療費適正化の取組、単年度収支を平田が説明した。

意見、質疑

- ・(有木委員) コロナで入院された人の医療費は国保からは支払われていないのか。国からは出せないのか。
- ・(平田) コロナにかかった医療費は、2割又は3割の本人の負担はないが、残りの7割又は8割は国保から支払っている。
- ・(有木委員) 全額国から支給かと思っていた。患者が払わない分は国保から支払うということですね①。
- ・(平田) 患者の負担はない。(保険者に対する) 補填もない。
- ・(和田部長) 保険者から見たら他の病気と同じ(取り扱い)になる。
- ・(有木委員) こっち(保険者負担分)は国保会計から支出したということですね。だから医療費が上がったんですね。
- ・(平田) それも考えられる。

- ・(岩松委員) 保険税の限度額は昨年から上がったと思うがいくらになったか。
- ・(岩下課長) 限度額は102万円です。
- ・(和田部長) 40歳以上74歳までの介護納付金を入れて102万円になった。

- ・(岩松委員) 資料6の令和3年度から令和4年度にかけて一人当医療費が8位から4位に上がった理由は何か。小林市は統合失調症が多いと説明があったがそれが原因か。他に原因はあるのか。
- ・(平田) 上がった原因は統合失調症が多いという訳ではない。(原因は確認中で)まだ分からない。
- ・(岩下課長) これまでの傾向で統合失調症が多い。他に高血圧などの医療費も高い。
- ・(岩松委員) それは小林市だけか。
- ・(岩下課長) 他の市町村も似た傾向にある。

- ・(芝原委員) 毎年医療費は少なくなっているが、税収も上がらない、被保険者数も減っていく状況で基金を取り崩すのが早くなっている感じがする。非常に厳しい状況が続くということか。
- ・(岩下課長) 今 1,800 万円の赤字で計算しているのでしばらくは大丈夫だが、この赤字がふくれてくると基金の取り崩しも早くなってくる。どこかの段階で税額を上げないといけない時期が来る。8 年程税額は据え置いているが、将来は(税額は) 県下統一となるので近いうちに税額を上げないといけない状況になる。これについては5月の協議会で説明して相談させていただく。

- ・(高妻会長) 資料6の特定健診受診率が12月末で30%位だが、コロナの関係ではないかと思う。後期高齢の長寿健診の受診率も記載していただきたい②。
- ・(岩下課長) 後期高齢の割合をまた(後日)お示ししたい。
- ・(高妻会長) コロナで病院に行かないため医療費が抑えられている。
- ・(岩下課長) ちなみに、後期高齢者一人当医療費は80万円を超えている。

- ・(有木委員) 国民健康保険税の収納率について、未納はどのくらいか。
- ・(岩下課長) 資料5で現年度収納率が95.03%であり、5%程が収納が遅れている方になる。
- ・(有木委員) 未納分は、督促していても遅れているのか。
- ・(岩下課長) 督促や催告、差押えも行っているが滞納者はいる。できる限り納めていただくよう手を尽くしている。
- ・(有木委員) 経済的に納められない方もいると思うが、そうでない方もいると思うのでそのへんがどうなっているかと思って聞いた。

- ・(芝原委員) (限度額) 102万円支払っている方が何人いるか③。満額納めている人には何か特典があったほうがいいのか。
- ・(岩下課長) (102万円の人数は) 次回お示ししたい。

- ・(福森委員) 出産育児一時金の30人は国保加入者だけか。
- ・(平田) はい。
- ・(福森委員) この方の財源はどこから出ているのか④。社保加入の方は(出産育児一時金は) 出るのか。
- ・(平田) 社保加入の方は社会保険から出る。
- ・(福森委員) うちの方(社会保険)の財源から出るとのことか。
- ・(平田) はい。

- ・(福森委員) ジェネリック医薬品の普及率はどのくらいまで進めているのか⑤。

- ・(平田) 80%は超えている。
 - ・(福森委員) (目標は) 100%まで目指しているのか⑤。
 - ・(平田) 100%まではない。
 - ・(福森委員) ジェネリック医薬品の差額通知で、ジェネリック医薬品の選定はどうしているのか。一番安いのに合わせて通知しているのか⑥。
 - ・(平田) 後で調べてみます。
 - ・(福森委員) いくら以上を基準としているか。
 - ・(平田) 新薬とジェネリックの差額が 200 円以上を抽出している。
-
- ・(岩松委員) マイナンバーカードの取得率は宮崎県が全国 1 位だが、実際、病院で使えるのか聞きたい。
 - ・(平田) (医療機関がマイナンバーカード読み取りの) 機器を入れているかどうかです。大きな病院はほぼ導入している。
 - ・(岩松委員) 小林市でも導入しているところがあるのか。
 - ・(平田・他委員) ある。市立病院もある。マイナンバーカードも使える。
-
- ・(丸野委員) (自院に) 光回線が来ていない。マイナンバーカードを使うには安定した通信速度が必要なので環境をよくしてもらいたい。
 - ・(岩下課長) 光回線がどこまで進んでいるか把握していない。何らかの会議で述べてみたいと思う。
-
- ・(岩下課長) ご意見いただきありがとうございます。いただいた意見については関係課につないだり次回の協議会でお示ししたい。

今後のスケジュール

- ・委員の任期 令和 4 年 5 月 9 日～令和 7 年 5 月 8 日までの 3 年間、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。
- ・視察研修 今後のありかたを検討したい。前回は平成 30 年 10 月 15～16 日 大分県津久見市役所 委員 6 名、職員 4 名参加
- ・次期協議会の開催 令和 5 年 5 月
- ・以上 3 点を平田が説明した。

7 閉会

※当日回答できなかった質問の回答、回答が漏れていた回答

①（有木委員）患者が払わない分は国保から支払うということですね。

→被保険者の支払う一部負担金は国県の公費負担となるため国保からは支払われない。

②（高妻会長）後期高齢者の長寿健診受診率も記載していただきたい。

→令和3年度 長寿健診受診率 36.79% 2,520人

令和4年12月末 長寿健診受診率 25.36% 2,206人

③（芝原委員）限度額102万円支払っている方が何人いるか。

→令和5年1月末時点で99人。

④（福森委員）国保の出産育児一時金の財源はどこから出ているのか。

→3分の2は一般会計から、残りは国保会計の自主財源になる。

⑤（福森委員）ジェネリック医薬品の普及率と目標は何%か。

→令和3年度の使用率は86.8%。目標は85%以上。

⑥（福森委員）ジェネリック医薬品の差額通知で、ジェネリック医薬品の選定はどうしているのか。一番安いのに合わせて通知しているのか。

→選定は差額が200円以上で、記載を「少なくとも〇〇円以上安くなる可能性があります。」としており、価格が一番高い金額に合わせている。

令和5年2月17日記載